

# ICT を活用した授業の展⑱

## 【4年生 社会「特色ある地域と人々の暮らし ～美濃和紙～」】 ①は ICT 機器の活用場面

|             | 学 習 内 容  | ○発問・対話を生み出す手立て  | ○ICT の活用  |
|-------------|--|---|---|
| つかむ<br>とらえる | <p><b>1. 導入資料を提示する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手すき和紙をつくっている家の数が減少している。</li> <li>現在、職人の数は40人である。</li> </ul> <p><b>2. 課題を設定する。</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>手すき和紙をつくっている家の数が減っているのに、なぜ鈴木さんは和紙を作るのだろう。</p> </div> <p><b>3. 課題に対する予想をする。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>美濃和紙作りが楽しいから。</li> <li>美濃和紙作りが好きだから。</li> </ul> <p><b>4. 個人で追究し、全体で交流する。</b></p>   | <p>○和紙作りってどんなところが大変だったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>10年の内に和紙作りの家が減ったことです。</li> <li>体力的にきついところです。</li> <li>和紙を作るのにお金がかかることです。</li> </ul> <p>○1956年は1300軒あった手すき和紙を作っている家が、この後どう変化したか指で表してみよう。(指で表す。)</p> <p>○実際どうだったか見てみよう。(見て、わーっと声上がる)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2021年現在は、18軒で40人です。</li> </ul> <p>○紙すき職人鈴木さんは60歳で手すき和紙作りを始めました。(児童のつぶやきや反応から、手すき和紙を作っている家の数が減っていることを全体で確認する。)</p> <p>(予想をノートに書き込む)<br/>(発表する)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>なくなりかけた伝統を続けるために始めたと思います。</li> </ul> <p>○今日はみんなどんな資料が欲しいですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年表、鈴木さんのお話、最初のグラフも配ってほしいです。</li> </ul> <p><b>【個人追究】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>配布された資料に自分の考えを書き込む</li> </ul>  | <p><b>ICT 活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①画面一覧機能</li> <li>②動画(編集)</li> </ul>  <p><b>導入資料</b></p> <p>①手すき和紙を作っている家の数(グラフ)を付箋(黄色部分)で隠し、徐々に見えるように移動させていく。</p>    |
| 深める         | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><b>①鈴木さんの年表</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鈴木さんの家では、家族で和紙を作っている。</li> <li>鈴木さんは、サラリーマンの仕事の後に、60歳から和紙作りを始めている。</li> </ul> </div> <div style="width: 45%;"> <p><b>②鈴木さんの話</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>美濃和紙は1300年の歴史がある。</li> <li>現在では、他県からも和紙を作りたいという人が来ている。</li> <li>1300年の歴史ある和紙作りの伝統を残していく必要がある。</li> </ul> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>鈴木さんの家では、和紙作りの技術が受け継がれている。</li> <li>なぜ、鈴木さんは60歳から和紙作りを始めたのだろう。</li> </ul> </div> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>美濃和紙は1300年も続いているから、これから先も残していきたい。</li> <li>他県から人が来るといことは、それだけ美濃和紙は価値があるものである。</li> </ul> </div> </div> <p>鈴木さんは、家族で和紙作りの伝統を受け継いでいる。</p> <p>美濃和紙には1300年の歴史があり、鈴木さんは、これからも和紙作りの伝統を残していきたいと思っている。</p> | <p>(予想をノートに書き込む)<br/>(発表する)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>なくなりかけた伝統を続けるために始めたと思います。</li> </ul> <p>○今日はみんなどんな資料が欲しいですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年表、鈴木さんのお話、最初のグラフも配ってほしいです。</li> </ul> <p><b>【個人追究】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>配布された資料に自分の考えを書き込む</li> </ul>   <p><b>【全体追究】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料1から鈴木さんは紙すき職人の家に生まれ、会社勤めだったが、61歳で紙すきの仕事を始めたことがわかります。奥さんに弟子入りしました。奥さんは先に紙すきを始めました。</li> <li>資料3とつなげて、奥さんに弟子入りした時は、紙すき職人がちょうど一番少ない時期と同じことがわかります。少しでも和紙を残したい、広めたい鈴木さんが考えたと思います。</li> <li>1300年も続いている美濃和紙を残していくために鈴木さんは和紙作りを始めた。</li> <li>人気のある美濃和紙が買えなくなってしまうから。</li> <li>全国から和紙作りの技術を学びたいという人が美濃市にやってきました。</li> </ul> <p><b>研究内容2-① 深めの発問の工夫</b></p> <p>全体交流で、美濃和紙には長い伝統があり、長年大切にされてきたものであることを理解した上で、「鈴木さんの願い」の動画を視聴し、自分達で伝統を守っていききたいという鈴木さんの願いを考えさせる。&lt;動画1&gt;</p> | <p><b>資料の配布(鈴木さんの年表・鈴木さんの話)</b></p> <p>①子どもたちにどんな資料が必要か聞き、その資料(1ページ)を配布する。子どものノートの一冊下に追加される。</p>  <p>①画面一覧機を活用して、児童が資料を読み取る内容や状況を確認し、読み取りが難しい児童には、机間指導で支援する。</p>  <p>①自分で画面を切り替えて、つながっている部分を表現する。</p>   |
| まとめる        | <p><b>5. 深めの発問をする。</b></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>なぜ、鈴木さんは退職後(60歳)から和紙作りを始めたのだろう？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本全国から和紙を作りに来る人が美濃和紙の伝統を守ろうとしている。だから、美濃市に住んでいる自分たちこそ、この伝統を守らないといけない。</li> <li>1300年続いたこの伝統をこの先1300年以上続けていきたい。</li> </ul> <p><b>6. まとめる</b></p> <p>手すき和紙を作っている家の数が減っているのに、鈴木さんが和紙を作る理由は、1300年も続く長い歴史ある和紙作りの伝統をずっと残したいと願っているから。だから、退職後に和紙作りを始め、1300年続いた伝統を守ろうとしている。</p> <p>伊深町でも、郷土料理を作って、地域に広めている「伊深ごはん研究会」という人たちがいる。この人たちも鈴木さんと同じように、伊深の伝統を大事にしていると思うから、私も伊深町の郷土料理について調べてみたい。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>全国の若い人たちが美濃和紙を守ってくれているから、自分も伝統を守らなくっちゃと思いました。</li> <li>昔の人の努力があって、長く続いているものが途切れないようにしたい。</li> </ul> <p>&lt;動画2の視聴&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鈴木さんは、自分も伝統を守りたいと言っていた。</li> </ul> <p>○こうぞや道具を作る人も伝統を守っているんだよね。</p> <p><b>研究内容2-② まとめる時間の工夫</b></p> <p>手すき和紙を作る家の数が減っている中、和紙を作る鈴木さんの願いから、伊深町に残されている文化や伝統、建物、人々の暮らしと関わらせてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童が書いた「まとめ」の中で、伝統を守ろうとする職人さんの願いを自分事として捉えているかを確認する。</li> </ul>   <p>・「和紙作りを守りたい」という熱意をもって、和紙職人になって伝統を受け継いだ。</p> <p>・1300年続いてきた伝統を守りたい。</p>   | <p>②鈴木さんの話を編集した動画で見せる。話しぶりからも紙すき職人の思いを読み取ることができる。(個人にも配布し、視聴できるようにする。全員ヘッドセットを使用)</p>   <p>&lt;動画1&gt;</p> <p>②前の動画で、編集しカットしてある部分の動画を見せ、自分が読み取った思いと鈴木さんの本当の思いとを比較する。</p>  <p>&lt;動画2&gt;</p>   |